

令和2年度第1回逗子市スポーツ推進審議会 議事録

- 日時 2020年（令和2年）9月11日（金）午後3時～4時15分
- 場所 逗子市役所第2会議室
- 出席委員 佐久間健、宮川光男、村田祐子、阿部裕司、小谷昭彦（敬称略、順不同）
- 欠席委員 なし
- 事務局 大河内教育長、岩佐市民協働部長
文化スポーツ課：阿万野課長、土屋係長、鈴木主任
- 公開の有無 有
- 傍聴人の数 0人
- 資料

事前配付資料

- 資料1 令和元年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）
- 参考資料1 逗子市スポーツ推進審議会条例
- 参考資料2 平成30年度逗子市スポーツ推進計画評価調書
- 参考資料3 逗子市スポーツの祭典2019参加者集計表
- 参考資料4 逗子市スポーツの祭典2019チラシ
- 参考資料5 逗子市スポーツの祭典2019アンケート集計結果
- 参考資料6 逗子市内 小学生のためのスポーツ団体一覧
- 参考資料7 うみかぜクラブ メニュー一覧入会案内

当日配付資料

- 次第
- 名簿

- 資料2 令和2年度逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書（案）（抜粋）
- 参考資料8 令和元年度逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書（抜粋）

- 記録 鈴木主任 2020年（令和2年）9月18日（金）作成

<開会>

任命式

教育長・部長挨拶（挨拶後退席）

定数の確認

事務局

本日は、委員数5名のうち5名の出席がある。「逗子市スポーツ推進審議会条例」第7条の規定により、会議が成立していることを報告する。

会長、副会長の互選

会長は佐久間委員、副会長は宮川委員に決定

<議事>

事務局

「逗子市スポーツ推進審議会条例」第5条第3項に基づき、この後の進行は会長に
願う。

会長

会長挨拶

事務局

資料の確認

会長

議題1の「令和元年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について」事務局から説明
を願う。

事務局

まずは様式の確認をしていただきたい。資料1をご覧いただきたい。平成28年度から
本様式を用いて、調書を作成している。今年度も引き続きこの様式を用いて進めてよい
か、ご意見を願う。

よろしければ、ご覧いただいている資料1の令和元年度の評価対象事業について、「実
施結果、進捗状況、自己評価」の記載内容を基に市の取組みについて評価をしていただ
く。

会長

評価調書の様式について、引き続き昨年の様式を用いることでよろしいか。

委員全員

【異議なし】

会長

「逗子市スポーツの祭典の開催」について、事務局から説明を願う。

事務局

(事業1「逗子市スポーツの祭典の開催」について読み上げ)

会長

去年はラグビーワールドカップが神奈川県でも盛り上がった。評価としてはBで良い
と思うが、ご意見等あるか。

小谷委員

スポーツ活動の活性化を図るという意味でも他の市町村の参考になる取組みになっ
ていくと考える。前年度から763人の参加者増という結果からも大変な成果で基盤づくり
ができてきているからだと思う。スポーツを始めたい、再開したいと回答している人が80%
を超えていることから、継続的にスポーツを続けるきっかけ作りという事業目的を十分
達成できていると考える。

阿部委員

市民がスポーツを継続するきっかけ作りとして有効であった。小さい子から高齢者まで幅広い年齢層や、障がいのある方も参加できるイベントであった。オリンピックにからむ令和元年度にしかできないイベントができていた。

宮川委員

スポーツの祭典は逗子の伝統となっている。オリンピック・パラリンピックにからむ内容とともに効果的に実施できたと考える。

村田委員

スポーツ推進委員としてポッチャに関わらせていただいた。参加可能年齢層も広く、障がいのある方も一緒に実施できる。ルールも単純明快な種目で市民の皆さんの意識をオリンピックに向けることができた。専用ボールが必要だが、貸し出し等をして逗子の中だけでもメジャーなスポーツとして盛り上げていきたい。

会長

Bでよろしいか。

委員全員

【異議なし】

会長

「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について、事務局から説明をお願いする。

事務局

(事業2「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について読み上げ)

会長

ご意見を願います。

宮川委員

小学生のためのスポーツ団体一覧について、コロナの影響で4月から活動が停滞していたが、8月から練習等も再開し始めた。それに伴い未就学児や1年生等の体験希望も増えてきている。小学生のためのスポーツ団体一覧の効果があるものと考えている。

村田委員

最近は逗子に縁もゆかりもない方が越してくることが多い。そのような方たちにとっては、一覧表が参考になる。随時更新し、掲載団体が増えていけばなお良い。

阿部委員

逗子は移住先として人気が出てきている。資料に関して、逗子市内の小学生の人数、一覧に記載されている団体に実際に参加している小学生の人数、また一覧に記載されている以外の団体でスポーツをしている小学生の人数等の情報もあると良いと思う。

小谷委員

今年度から県立体育センターから県立スポーツセンターになり、教育局の所管からスポーツ局に移管され新たなスタートを切った。スポーツ活動支援課がこのスポーツリー

ダーバンクを担当している。

新型コロナウイルスの影響で当センターの事業を進めることが難しかったが、7月21日から一部供用を開始した。現在事業は行っていないが、10月からの事業開始に向け募集を始めたところである。

プラネットかながわかからも検索できるスポーツリーダーバンクという事業を行っている。現在の登録者数は延べ535名、実人数410名と減少傾向及び高齢化している。40代、50代の若手の指導者の登録数は年間平均4、5人程度で、活動が難しくなり辞める方が若干多いため、全体数が減少しているというのが実情である。現在、レクリエーション関係の種目も含め99種目あるが、今後どのように事業を発展させていくかという課題がある。また、検索していただいた後、場合によっては総合相談等も対応しているが、その後実際に利用に至ったのか、感想等は検証が不十分である。今後、お互いに情報共有等の協力をしつつ、より良い形を模索していきたい。

会長

評価についてBでよろしいか。

委員全員

【異議なし】

会長

次に「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について、事務局から説明をお願いする。

事務局

(事業3「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について読み上げ)

会長

ご意見をお願いする。

宮川委員

指導者の派遣も難しいと思うが地道に進めていくしかない。

村田委員

運動をする子としない子で二極化している傾向があると聞く。意外なきっかけで子どもが興味を持つことも多いため、運動をしない子にとってのきっかけ作りという意味でも、行事等を通して継続的に地道に続けていくことが大切。派遣の数が少なくなったということで、やめるのではなく、それでも続けていくということがこれから必要になってくると思う。

阿部委員

教員が部活動の対応等もあり大変多忙である。必ずしも経験のあるスポーツを担当するとは限らないため、地域の協力が得られると良いが、思うようには進んでいない。地域でスポーツの受け皿ができると良いと考える。

小谷委員

部活動の指導者をとりまく環境の変化をみていると、スポーツ庁が言うように、この

先、部活動と地域が一体化、連携、協働して行くことも十分可能性がある。地域の指導者が果たす役割は大きくなっていく。本事業のような活動を継続していくことが部活動等のありかたにも重要なかたちで繋がってくるため期待している。

会長

現在の状況をふまえ、是非拡充していただきたい。

部活動に関しては、生徒が県大会等への参加を希望している部活は、土日も練習しており、顧問の先生はオーバーワークを避けられずにいる。今年から県立高校では閉庁日を設けている。年間を通して一定期間の休みを設定する等の取組みは行っているが、小中学校でも同様な問題があると聞いている。働き方改革に関わる行政のバックアップがあると良い。地域人材の活用という視点からもご協力いただきたい。

評価はBでよろしいか。

委員全員

【異議なし】

会長

次に「うみかぜクラブの活動内容の充実」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

(事業4「うみかぜクラブの活動内容の充実」について読み上げ)

会長

ご意見ををお願いします。

宮川委員

うみかぜクラブはよくやっている。逗子の高齢者が多く参加している。寿命が延びている要因の一つになっているのではないかと。

村田委員

自分も逗子アリーナでバレーボールをしているが、うみかぜクラブが隣のコートで活動しているのを見たりすると参加している高齢者が多数おり、男性の利用者も多く元気に活動している。夜は比較的若い方が多いが、日中は高齢者の利用者が目立ち、スポーツクラブではなく、気負わず利用したい方には適していると思う。

阿部委員

事業のスリム化、メニューの見直しを図られていることは評価できる。

ただし、スリム化も大切ではあるが、参加者が希望するスポーツの色々な選択肢になってくれると良い。

小谷委員

クラブの運営が厳しく、悪化している中、スポーツ種目ではないメニュー用意して、きっかけ作りを工夫している試みは評価できる。発展拡大も理想かもしれないが、自立化、安定化という視点から体制を維持し、運動の場を安定的に提供し続けることが大切。今後も取組みを継続していただきたい。

会長

気軽に入ることができ、無理のない活動ができているクラブとして、引き続き継続していただきたい。

評価はBでよろしいか。

委員全員

【異議なし】

会長

事務局は、いただいた意見を基に、評価調書の審議会での意見の欄をまとめてください。今後の流れについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

本日のご意見を整理し、評価調書を次回（第2回）会議までにまとめ、次回その案についてご意見をいただく。後日、各委員にメールにて最終案を確認していただき、確定次第、教育長に事務局から報告させていただく。

会長

次に、議題2の「令和元年度逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書に関する意見聴取について」事務局から説明をお願いします。

事務局

資料2及び参考資料8をご覧いただきたい。

逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書には、逗子市総合計画実施計画の目標と、それに対しての昨年度の取組みを記載している。

スポーツに関しては3事業が対象となっており、これらの自己評価に対する意見をお願いします。

点検・評価に関する報告書は、市教育委員会11月定例会において承認を得た後、令和2年市議会第4回定例会で報告する予定である。

令和元年度の取組みにおける「実績」「自己評価」については、所管課で事前に記入したものである。

会長

「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）の参加者数」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

（「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）の参加者数」について、令和元年度の実績を読み上げ）

会長

ご意見をお願いします。

宮川委員

700人以上参加者が増えたということは素晴らしい。事務局と逗子市体育協会との連携も評価できる。

村田委員

目標人数に足りてはいないものの、良い増え方をしている。オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ等、普段スポーツを見ない人も意識がスポーツに向いていた時期でもあり、全体的に参加者が増えたと思われる。スポーツに注目が集まっていた状況を上手く活用している。

阿部委員

第一運動公園から遠い居住地の小学生を参加につなげる工夫があると良い。

小谷委員

内容は素晴らしい。2022年までに5,000人という数字については、昨年はオリンピック・パラリンピック等の関連イベントをきっかけづくりとして利用できたが、このコロナ禍において活用するのは難しい状況である。外に出て活動する意欲が落ちている。イベント参加に躊躇する方々が多くなる中、参加人数を追求するのはハードルが高く、厳しいと考える。

数は一つの目標ではあるが、参加者の年齢が把握できているのであれば、参加者の少ない年齢層を増やす等の工夫があると良い。

事務局

昨年度は市民まつりと連携し、スタンプラリーも実施したことから、今まで参加していなかった人も、逗子アリーナに足を運んでいただいた。今年度は単独の開催ということで課題も多いところである。

会長

「成人の週1回以上のスポーツ実施率」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

（「成人の週1回以上のスポーツ実施率」について、令和元年度の実績を読み上げ）

会長

市役所未病センターの保健師と逗子アリーナ未病センターの健康運動指導士との連携が良く、事業の要となっている。有資格者の増員を強化することも必要である。今後も連携を継続してほしい。

ご意見ををお願いします。

宮川委員

未病センターの保健師と健康運動指導士との連携はとても貴重で素晴らしい。連携は継続していただきたい。

村田委員

運動をしたい、始めてみたい、という意欲があっても、体を壊した後の方等、実際どのような運動すればよいのか分からず躊躇している人もいる。その際に、市役所内でも場所的にも気軽に立ち寄ることができる未病センターが窓口となっている。実際に、コロナで閉鎖される前までは利用者が増えていると聞いていた。コロナに気を付けながら、逗子市体育協会と連携して継続していただきたい。

阿部委員

パーソナルトレーニングについて、各回5名となっているが、場所的な要因なのか、又は指導する人員が要因なのか。

事務局

健康運動指導士が1名しかおらず、各回5名となっている。場所的な要因もある。

阿部委員

一度参加した方々は施設を利用して継続的に運動を続けているのか。

事務局

それぞれの参加者に合ったトレーニングプログラムを作成し、体育館トレーニングルームの器具を使用、及び自宅のできる運動を提案し、継続を促している。また定期的に保健師が追跡も実施している。

小谷委員

障がい者は調査の対象に含まれているのか。

事務局

障がい者のみの調査は実施していない。

小谷委員

県では、障がい者関係団体にご協力いただき、様々な障がい種別の方を対象に「運動・スポーツ実施率調査」を実施している。障がいのある方の運動・スポーツ実施率向上のための基礎的調査として、神奈川県内における障がいのある方の運動・スポーツの実施状況及び特徴を明らかにし、県立スポーツセンターが障がい者スポーツ推進事業を効果的に運営するための基礎資料にしたいと考えている。今後、皆さんにも参考にしていただけるよう、報告書にまとめ、今年度末にウェブサイト上で公開する予定である。

会長

「うみかぜクラブの会員登録数」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

（「うみかぜクラブの会員登録数」について、令和元年度の実績を読み上げ）

村田委員

登録者数は減ってはいるが、大幅に下がらないように、メニューを工夫する等、入会しやすい環境づくりを続けていただきたい。

阿部委員

10代、20代の方たちにもうみかぜクラブを知っていただき、登録者数を増やす対策が必要と考える。

小谷委員

会員登録者数は減っているが、1月当たりの参加者数は前年よりも増えている。一人の会員が何度でも参加したいというメニューが提供されているとよい。今後も継続していただきたい。

会長

事務局は、いただいた意見を基に、逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書の外部有識者の意見、今後の課題と取組みの方向性の欄をまとめてください。今後の流れについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

本日のご意見を基に、令和元年度逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書の外部有識者の意見の加筆修正をし、最終確認は会長一任で確定させていただき、その後、教育委員会に報告させていただきたい。

委員全員

【異議なし】

事務局

今回の会議において、令和元年度スポーツ推進計画評価調書の審議会意見のとりまとめを確定する予定であるが、コロナ渦において書面開催という実施も可能である。皆様のご意見をお願いします。

委員全員

【書面開催にて了承】

事務局

今年度のスポーツの祭典について説明させていただく。10月18日（日）に開催する予定である。当初、4月29日にオリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る目的で様々なイベントを企画していたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり中止とした。

10月18日のイベントについては、オンライン中心で開催する。マラソン、ラジオ体操、おうちでストレッチを動画で配信する。キッズスポーツチャレンジでは小学生、未就学児を対象に、頑張っている動画を送っていただき、編集、配信し、市民の皆様にも動画を見て元気になってもらうという企画である。“コロナに負けるな”という合言葉を動画内で言ってもらい、皆で頑張ろうというメッセージを発信していく。

オンラインマラソンの他に、当日リアルに開催するのがフルフル・マラソンである。池子の森自然公園の400mトラックで参加していただく。みんなでつながるフルフル・マラソンとは、障がいのある方、お子様、高齢者の方等誰でもつながって参加できるという思いをこめている。オンラインでの参加が難しい方も、現地でエントリーできるようにしている。

会長

その他、ご意見等あるか。なければ事務局へ進行をお返しする。

<閉会>

事務局

本日の議事は終了した。以上で「令和2年度第1回逗子市スポーツ推進審議会」を閉会する。